

## 「食道癌患者に対する免疫チェックポイント阻害剤治療の現状」の研究実施に関する情報公開

### 【はじめに】

本邦では死因の1位はがんであり、食道癌は男性で7位、女性で16位です。食道癌の治療としては切除可能な状況であれば手術を考慮しますが、肝臓や肺などに遠隔転移を認める患者さんや術後再発した患者さんでは、抗がん剤や放射線療法が治療の主体となります。食道癌の治療成績は他の癌種と比較すると決して良好とは言えませんが、治療法の改善などにより向上してきています。

昨年、食道癌に対する新しい治療薬として免疫チェックポイント阻害薬が承認され、実際に患者さんに用いることができる様になりました。免疫チェックポイント阻害薬は、これまでの抗がん剤とは異なる機序で作用し、癌細胞への攻撃を助けます。但し、作用機序が異なることより、特異的な副作用が出現することもあり注意が必要です。

### 【研究内容】

食道癌に対する新しい治療法として期待される免疫チェックポイント阻害薬治療について、当院における治療の現状を調査することとしました。

対象：2020年以降に当院にて進行再発食道癌症例に対して免疫チェックポイント阻害薬療法を開始した患者

方法：1) 診療録から研究に必要な臨床情報を抽出し、個人が特定出来ない形で匿名化（氏名、住所、電話番号などを消去）し情報を収集します。収集するのは治療過程で得られたデータであり、新たな負担はありません。

2) 患者さんの病状、特徴、治療内容、治療成績、治療中の有害事象を解析し、それぞれの関連について検討します。

### 【患者さんの個人情報の管理】

国が定めた「疫学研究に関する倫理指針」を遵守し実施します。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会発表や論文など）の際には、患者さんを特定出来る情報は一切含まれないため、プライバシーの侵害は起こりません。対象となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。本研究への参加の有無により、今後の治療方針が変更になることはありません。

**【研究機関】**

倫理審査承認日から 2021 年 12 月 31 日までの予定

**【医学上の貢献】**

新しい食道癌に対する治療法である免疫チェックポイント阻害薬療法について、  
実臨床での有用性を提案出来ると考えます。

**【研究機関・責任者】**

独立行政法人 国立病院機構 別府医療センター 消化器外科・食道外科 医  
長 江頭 明典

連絡先：〒874-0011 大分県別府市大字内竈 1473 番地

Tel 0977-67-1111、FAX 0977-67-5766